

小池書記局長・仁比議員・大平さんら広島県の災害調査

避難所を訪ね、要望を聞きすぐ市へ・国へ



7月12日、小池晃書記局長（日本共産党豪雨災害国会調査団長）らは広島市内の被災地に入り、東区・安芸区で被災地を視察するとともに、避難所を訪ねて被災者を見舞い、要望に耳を傾けました。調

査には、仁比聡平参議院議員、大平喜信前衆議院議員、高見あつみ参院選挙区予定候補らが同行しました。

（写真は、矢野東の被災地で被災者の声を聞く調査団。左は庭に流れ込み逆さになった自動車）

広島市「民家に入った土砂は道路の作業と合わせて撤去」

調査後、小池書記局長らは広島市を訪れ、谷史郎副市長と懇談し、被災自治体としての要望を聞くとともに、今日の調査で聞いた被災者の声を届けました。

懇談の中で、副市長は、「民家に入った土砂の撤去は、道路の土砂を撤去する際に合わせて民家部分も撤去するようにする」と約束しました。

（写真は、副市長と懇談する小池氏ら）



豪雨災害の救援募金に取り組もう